## 別紙様式

## 意見交換会実施報告書

平成28年 7月29日

登米市議会議長 沼倉 利光 様

第5班 代表者 浅野 敬

## 1. 意見交換会の概要

	開催日時	平成28年 7月13日(水) 午後 7時00分 ~ 8時30分
開催場所		津山町:津山公民館(大会議室)
出席議員		代表者: 浅野 敬 司会者: 岩淵 正宏 報告者: 佐藤 惠喜 記録者: 沼倉 利光、氏家 英人
参加市民数		15人
実施内容	議会報告	・議会活動報告について ・財政状況について 28年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて ・常任委員会からの報告
	意見交換	『登米市の魅力 再発見 ~シティプロモーションについて考える~』 ・15人の参加があり、活発に意見交換が行われたが、60歳代以上の男性のみで女性や若者の参加がなく偏りがみられた。 質疑の中では医療行政についての厳しい意見、また、津山診療所の休診、町域唯一のコンビニも閉店、市議会議員もいないことからの不安的な要望が多かった。

## 2. 市民の質問・意見等

		*** /	
会場で回答したもの	質	問	<ul> <li>(病院)</li> <li>・医療資源を集約化してきたのに、米谷病院を改築するという医療行政は矛盾しているのではないか。</li> <li>⇒合併当初、2病院5診療所とするとしたが、3病院4診療所とすることが第二次改革プランで承認されたことによる。</li> <li>・病院の年間の赤字はいくらか。また、累積赤字はいくらになっている。</li> <li>⇒年間では10億、累積では28年度で137億の赤字となっている。</li> <li>・医師確保にどのような努力をしているのか。</li> <li>⇒働きやすい環境をつくることで、医師が辞めることも防ぎたい。(その他)</li> <li>・登米町に震災で出た大量の鉄くずが積み上げられている所があるが、市で管理しているのか。</li> <li>⇒個人業者の物と認識している。(教育)</li> <li>・幼保一元化は簡単にできるのになぜできないのか。津山の場合、なぜできないのか。柳津にもっていけばいい。</li> <li>⇒幼保一体化になるよう努力する。</li> </ul>
	意	見	(その他) ・区長会の「あて職」が多すぎて負担が大きく、大変である。 ⇒特に区長会の会長が忙しい。区長会総会の前段で話題提供したい。
	要	望	
	提	i	
	(	)	
会場で回答していないもの	質	問	
	意	見	(病院) ・医師が不足している中、津山診療所は休診した。市長のミスではないか。(その他) ・区長会の会長をやっているが、仕事(あて職)が多い。数えたら約30もある。津山公民館の指定管理も担っているが、何もない(金銭的に)。何かいい考えはないか。
	要	望	<ul> <li>(公共施設、跡地利用)</li> <li>・懐古館の改築は、小関邸を含めた形で進められているが、取り付け道路の使用許可など、地主の許可は得られているのか。反対しているわけではないが、着実に進められたい。(病院)</li> <li>・津山診療所が休診となり、もくもくバイオマス発電計画も中止になったが、いつも中止が決まってからの報告となり、中止に至る過程が市民にはわからない。中止を決定する前に、地域住民に知らせてほしい。(教育)</li> <li>・児童施設が貧弱だ。登米市全体を見回しても津山は弱い。議員は認識してほしい。(その他)</li> <li>・気仙沼線の維持管理を徹底してほしい。</li> </ul>

	提	ìШ	<ul> <li>(まちづくり)</li> <li>・各支所に10億円規模の予算をつけることで、それぞれの支所が活性化すると思うが。</li> <li>(コミュニティ、集会施設、公民館)</li> <li>・一括交付金制度になり仕事も増えているのに、公民館の館長は非常勤で、ボーナスも出ない。館長を常勤にし、きちんと待遇するべきではないか。これでは後が続かない。</li> <li>(国際交流)</li> <li>・国際交流事業で市内の中高生を海外に派遣しているが、市は単に国際交流協会に丸投げしているのではないか。その費用対効果を検証すべきである。(市民生活、健康推進)</li> <li>・津山診療所が休診になり、現在、豊里病院へ行くお年寄りが多い。さらに以前は、住民バスが2往復していたが、今は1往復だけになったことで、帰りのバスがない。改善すべきである。</li> <li>・総合健診で、前立腺癌の検診は74歳までで、75歳以上は受けられない。石巻市では年齢制限はない。登米市も年齢制限をなくしてほしい。</li> </ul>
	(	)	
その他 特記事項			